



RI 会長テーマ

2019~2020 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 鈴木 信男
副会長 古内 一二
幹 事 三浦 和士



=会長指針=

未来につなげよう

・ ・ ・ 例 会 記 録 ・ ・ ・

2月第1週例会 2020年 2月 6日(木)

ソング : 君が代・四つのテスト ボックス : 35,000円 (報告者 橋爪文人会員)

お客様紹介 : 一般社団法人 大船渡青年会議所 理事長 やまぐちみつはる 山口康玄 様
専務理事 磐井公洋様 直前理事長 猪股博光 様

本日出席率 : 59.62% 前回修正後 80.77% (メークアップ 7名) (報告者 木下彰則会員)

★ 一般社団法人 大船渡青年会議所より表敬訪問いただきました。



本日はお忙しい中お時間を割いて頂きありがとうございます。今年度理事長を仰せつかりました山口康玄です。
ライフ工業に勤務しております。
いつも父がお世話になっております。



猪股様 山口様 磐井様

さて、私は今年度のスローガンを **hance for Change** といたしました。

今年度の会員数は大船渡青年会議所の歴史の中で最も少ない21名でスタートし、2名の卒業生を予定しておりますが、今まで先輩方が築き上げてこられた成長できる環境に尊敬と感謝の気持ちを抱きながら、町の為、人の為、会社の為、家族の為、そして自分の為に目標を持ち仲間に感謝し、人を思いやり、尊重しながら活動や運動をしていきます。また、自己研鑽し、個々の資質向上、そして地域の発展に貢献出来るよう、自ら積極的に行動する JAYCEE を目指していききたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。



熊谷雅也会員に

次年度 RLI 委員会委員への委嘱状。

★ 会長の時間 : 鈴木信男会長



会長の時間を務めさせていただきます。

今月は「平和と戦争予防/紛争解決月間」です。

月信 2017年2月号から

これは紛争予防と仲裁に関する、若者(将来リーダーとなることが望まれる人)を対象とした研修の実施、紛争地域における平和構築の支援、平和と紛争予防または紛争解決に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金支援を強調

する月間です。

マイロータリーから

ロータリー平和フェローシップは学費、生活費の全額支援の奨学金を通じて、理論と実践の両面で研修を提供し、平和構築の分野における専門家のネットワークを築いている。

毎年最高 130 人が終了証を取得し、これまでに 115 か国以上から 1300 人を超えるフェローが平和センターを卒業し、政府、NGO、国連など国際機関で活躍している。

2020.2 ガバナー月信 8 号 9 ページにマイロータリーアカウント登録状況が掲載されています。

会長の時間を終わります。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

- ・地区大会に関する連絡が届いています。
リーフレットと一緒にお配りしておりますのでご覧ください。
- ・山口康文会員へ月信原稿執筆依頼が届いています。
- ・大宮ロータリークラブ主催のポリオ撲滅チャリティークラシックカーラリー開催の案内が届いています。

日時 3月21日(土) 8時30分スタート スタート場所 武蔵一之宮氷川神社境内

参加資格車両 1975年製造までの車検付き車両 参加費用 2人まで6万円

締切り 2/29

- ・第8回全国インターアクト研究会開催の案内が届いています。

日時 4月25日(土) 12時受付開始 場所 山形テルサ 締切り 3月9日

2 盛岡東ロータリークラブより 創立40周年の記念式典・祝賀会の案内が届いています。

日時 4月5日(日) 午後1時受付開始 会場 盛岡グランドホテル

登録料 1人10,000円 締切り 2月22日

3 先に配布しておりましたリアスホールに於いてのわらび座公演チケットについては個々に申し込み購入して頂きますようお願いいたします。

開催曜日の訂正 2月24日(日)を2月24日(月)

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

米山アワー : 松岡克之委員長卓話



スライドを見ながらお話し頂きました。

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

優秀とは「(1) 学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2) 異文化理解 (3) コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れている点が含まれます。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。

年間の奨学生採用数は850人（枠）、事業費は14億円（2017-18年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で20,396人（2018年7月現在）。その出身国は、世界127の国と地域に及びます。米山奨学金には、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

日本には約2,300のロータリークラブがあります。そのうち1つのクラブが、1人の奨学生の「世話クラブ」となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

（米山奨学生は月に1回例会へ出席 奨学金の受け渡し スピーチその他、親睦活動・奉仕活動への参加など。）

奨学生1人に対し、世話クラブのロータリアンの中から1人がカウンセラーとなります。カウンセラーは、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーです。様々な職業、世代で構成されるロータリークラブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会となります。米山奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとって財産となるものです。

◆ 米山記念奨学会マークについて



重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表しています。

外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う”心”を育てるという、事業創設の願いが込められています。手は、そうした”心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。